

学習の指針（シラバス）

教科名	数学	実施学年	1年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・身近なものから、主体的に数学的な事項を見いだすことができる。
- ・学んだ知識を活用し、思考し、課題に一生懸命取り組み、自分の考えを、数学的用語を用いて、表現できる。
- ・課題解決に向け、主体的に仲間と協働できる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●1章 正負の数 ・1節 正負の数	<ul style="list-style-type: none"> ● 負の数の意味や絶対値、大小関係を理解する。 ● 正・負の数の四則計算の意味を理解し計算ができる。 ● 正・負の数を利用し、表現することができる。 ● 文字を用いる意味を理解し、数量を文字式で表すことができる。 ● 文字式の乗除の表し方を知り、加法・減法の計算ができる。 ● 等式、不等式の意味を理解し、表すことができる。 	25時間	中間テスト 期末テスト 授業プリント 提出物
	5	・2節 加法と減法 ・3節 乗法と除法			
	6	・4節 正負の数の利用 ●2章 文字と式 ・1節 文字を使った式		17時間	
	7	・2節 文字式の計算 ・3節 文字式の利用			
第2学期	9	●3章 方程式 ・1節 方程式とその解き方	<ul style="list-style-type: none"> ● 方程式・解の意味を理解し、方程式を解くことができる。 ● 実際の問題を方程式を利用し、処理することができる。 	16時間	中間テスト 期末テスト 授業プリント 提出物
	10	・2節 1次方程式の利用			
	11	●4章 比例と反比例 ・1節 関数と比例・反比例	<ul style="list-style-type: none"> ● 関数、変域の意味を理解する。 ● 比例の式、座標の表し方を知り、比例のグラフを通して、その特徴を理解する。 ● 反比例の式、比例のグラフを通して、その特徴を理解する。 ● 比例・反比例の見方、考え方を活用し、実際の問題の解を求めることができる。 	17時間	
		・2節 比例の性質と調べ方			
		・3節 反比例の性質と調べ方			
	12	・4節 比例、反比例の利用 ●5章 平面図形 ・1節 図形の移動	<ul style="list-style-type: none"> ● 図形の基本的な用語を理解し、図形の移動ができる。 ● 垂直二等分線、角の二等分線、垂線の作図の手順を理解する。 	10時間	
・2節 基本の作図					

	1	・3節 おうぎ形	● 円、おうぎ形の用語を理解し、円周や弧の長さ、面積を求めることができる。	7時間	
第3学期	2	●6章 空間図形 ・1節 いろいろな立体 ・2節 立体の見方と調べ方 ・3節 立体の表面積と体積	● 立体の特徴や空間での直線や平面の位置関係を理解する。 ● 立体はいろいろな見方ができることを理解する。 ● 投影図を理解することができる。 ● 立体、錐体、球の表面積や体積を求めることができる。	18時間	学年末テスト 授業プリント 提出物
	3	●7章 データの分析と活用 ・1節 データの整理と分析 ・2節 データの活用 ・3節 ことからの起こりやすさ	● 度数分布表、ヒストグラム、代表値を利用して、資料の傾向をとらえ、その結果をもとに説明することができる。 ● 誤差や近似値について理解し、適切に扱うことができる。 ● 必要な資料を見つけ、分析し、まとめ、説明することができる。	13時間	
		●1年生の復習	● 1年生の学習内容を復習することができる。	17時間	授業プリント

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを確実に理解し、基本的な知識を身につけている。 数量の関係について、数学的に表現や処理をすることができる。 テストでは、上記の問題を解くことができる。 	中間・期末テスト ☆授業中の発表、説明、計算
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的に捉え、論理的に考えようとする。 既習事項を元に、発展的に考えたりすることができる。 授業中に論理的に説明・発表などを取り組もうとする。 テストでは、上記の問題を解くことができる。 	中間・期末テスト ☆授業中の発表、説明、計算
主体的に学習に取り組む姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に興味を持ち、自ら課題を見出し取り組むことができる。 授業での発表及び、1分前学習、学び合い活動の取り組みの様子、ワークやプリントなどに計画を立て、主体的に取り組むことができる。 	☆授業態度(主体性・粘り強く取り組む姿勢) ☆1分前学習の取り組み 提出物への取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・復習が大切な教科です。授業で学んだ内容のワークを進めたり、プリントを見直したりします。復習を行うことで、知識の定着に繋がります。
- ・定期テスト前や、長期休み明けに、ワークの提出を行います。時間を見つけ、取り組みます。授業中に
出された課題が終わったらワークに取り組んでもかまいません。
- ・授業用ノートを1冊用意し、板書をしたり、自分の意見をまとめたり、教科書の問題を解いたりします。

5 教材等について

- ・教科書：東京書籍『新しい数学1』
- ・副教材：東京書籍『新しい数学1 基礎からの問題集』、数学ファイル（A4紙ファイル）
- ・その他：ノート1冊を準備します。また5章では三角定規、コンパスが必要になるので、連絡があったときに持ってきてください。